

その他の用具を起因物とする墜落・転落の死亡災害発生事例（1999-2020年）

発生年	発生月	発生時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
1999	5	13～14	塗料かすピット及びその周辺の清掃作業で、5段・2列に積み上げられた水切り用のパレット(1段の高さ70cm、ピットから移された塗料かす入)の最上段部に雨水避けのためにビニルシートを掛けていたときに、墜落した。	150109	30～49
1999	9	14～15	道路の法面に落石防止用の防護ネット(金網)を設置する工事において、防護ネットを取り付ける鋼製支柱にまたがり、支柱を支えるワイヤーロープの張力調整用のターンバックルに安全帯のフックをかけて防護ネットの取付作業を行っていたところ、ターンバックルが脱落したため安全帯のフックが外れ、約20メートル下のアスファルト道路上に転落した。	30199	1～9
1999	11	11～12	6階建ビルの外窓ガラスの清掃作業を一人乗り用のブランコで行っているときに、ビル屋上に固定していたブランコのメインロープが外れ、6階付近から約22m下の地面に墜落した。	150101	100～299
2000	2	11～12	高校の防球ネットの張り替え工事で、コンクリートポール(高さ約8m)に登って旧ネットをカッターで外す作業を行っていたときに、コンクリートポールに掛けていた安全帯が外れて約5mの高さから転落し、コンクリート塀にぶつかったから塀の外側の道路に転落した。	30209	1～9
2000	3	10～11	事務所建物内の掃除で、廊下でキャスターつき事務椅子に乗って転落した。	40103	50～99
2000	6	9～	7階建の建物で、ブランコにより窓ガラスの清掃作業をしていてブランコ、ロープとともに墜落した。	150101	50～

		10			99
2000	7	8 ～ 9	国道の法面防災工事において、法面にコンクリートを吹き付ける作業を行っていたときに、安全帯を取り付けていた親綱が突然切れたため約6メートル下の歩道上に墜落した。	30106	1～ 9
2000	5	13 ～ 14	病院の窓の清掃で、屋上のリングに親綱を結び、それに取り付けたブランコに乗ってパラペット端から約1m降りたところで屋上にいる職長から清掃道具を受け取ろうとしたときに親綱がほどけ、約30m下の1階事務所屋上に墜落した。	150101	10 ～ 29
2000	1	14 ～ 15	法面の施工のため口リップ付の安全帯を装着して枠内に水抜きパイプを取り付ける作業を行っていたところ、頭を下に向けて宙づりになったので、救出に向かったが間に合わず、腰から安全帯が抜け7.4m下に墜落した。	30199	1～ 9
2001	4	13 ～ 14	競輪場のメインスタンドにおいて、3階及び4階の窓ガラス清掃を外側から行うため、ブランコに腰を掛けて屋上(高さ24.9m)から降下(あるいは清掃しているときに)に地上に墜落した。	150101	10 ～ 29
2001	2	11 ～ 12	ブランコに乗って体育館の窓拭きを行っているとき、メインロープとブランコを結んでいるシャックルが外れ墜落した。	150101	1～ 9
2001	5	4 ～ 5	出港した船で操業海域に到着して操業を開始し、前日設置しておいた底刺し網の網揚げ作業に続いて投網作業中に海中に転落した。	70201	1～ 9
2001	6	11 ～ 12	町道拡幅工事において、法面上で落石防止の金属製フェンスの取付作業中に安全帯の親綱が切れて約10m下に転落した。	30106	1～ 9
2001	5	8 ～ 9	鉄骨階段塗装工事のため3階建ビル正面をの塗装に使用したブランコを移動しようとしたとき、ブランコを支えているロープが切断し地上11.2mから地面に墜落した。	30309	1～ 9
		5	ホッケ漁の型入れ作業のためアンカーの投入作業をしていて、アンカーロー		1～

2001	10	6	プに右足を巻き込まれ海中に転落した。	70201	9
2001	10	10 ～ 11	窓清掃用のブランコを使用して7階窓(高さ20m)を清掃中、躯体屋上部でブランコを固定していたロープの結び目が解けて地上に墜落した。	150101	10 ～ 29
2002	6	15 ～ 16	1階の土止め切梁に設置されている安全带取付用の親綱（被覆ワイヤーロープ）に安全带を掛け親綱に足をかけて登って鉄骨梁をつかんだときに、親綱を接いでいるクリップ（4個）からワイヤーロープが抜けたため、バランスを崩し約13m下の地下2階の鉄骨梁に張られた安全ネットまで墜落した。	30201	300 ～ 499
2003	2	16 ～ 17	町道において、作業員2名で土場に置かれた杉丸太材を車両積載型トラッククレーン（クレーンつり上げ荷重2.93t）で積込み中に、荷台上でクレーンの荷をトビ口で誘導していた者が足を滑らせ高さ約1.1mの荷台から転落した。	60201	10 ～ 29
2003	4	0 ～ 1	道路法面（のりめん）工事において、工事完了検査用に開けた検査孔（10×10cm）6箇所をモルタルで埋め戻す作業のため、高さ約51mの法面（のりめん）上部から垂したロープ（直径18mm）を使用して作業を開始しようとしたときに、ロープが切れて約40m下の道路脇に墜落した。	30106	30 ～ 49
2003	6	0 ～ 1	ブランコを使用するのビル（6階建）のガラス清掃で、通常使用する18mmロープを使わず16mm径ロープ（ライフライン用）を使い作業していたため、ロープが建物パラペット端部で切断され、6階付近より18.5m下のビル前方のアスファルト歩道に墜落した。	150101	10 ～ 29
2003	7	14 ～ 15	7階建マンションで、外壁の隙間にすみ込んだコウモリの巣穴に2cm角のスポンジをベランダから脚立を使って押し込んだ後、外部から点検するため直径が3cmの繊維ロープにブランコを取り付けて屋上から降りようとしていたときに、屋上の丸環に結び付けていた繊維ロープが解けて約22mの箇所からブランコもろとも地上に墜落した。	30309	1～ 9
2003	8	10 ～ 11	林道の開設工事において、勾配約60度の法面（のりめん）でバール等で法面（のりめん）のはつり作業を行っていたときに、安全带のロリップを取り付けていた親綱が岩とこすれて切断し約50m下の林道に転落した。	30106	1～ 9

2003	10	15 ～ 16	6階建テナントビルの清掃作業で、屋上にある丸環に補助ロープ（ポリエチレン製、直径15mm）を取り付け、ブランコでビル5階の外側窓を清掃していたときに、ロープの養生を行なっていなかったためロープが切断し約15m下に墜落した。	150101	10 ～ 29
2003	10	13 ～ 14	ロリップを使用して高さ6mの法面（のりめん）（勾配はほぼ90度）で、ホースを持ってコンクリートの吹き付け作業を行おうとしたときに、親綱と安全帯の結び目が緩んだため、林道側溝に墜落した。	30106	1～ 9
2003	12	9 ～ 10	山間部の斜面に落石防止網を取り付ける工事で、網を固定させるための縦ワイヤロープの設置作業中に、高さ約13.5mのところから道路上へ転落した。	30106	10 ～ 29
2004	5	18 ～ 19	マンション外壁の老朽破損状況調査において、ブランコ作業をしていたとき、16m以上の高さからブランコおよびロープごと地面に墜落した。	170209	1～ 9
2004	1	11 ～ 12	積載荷重3 t の荷物用エレベーター撤去のため、つり上げ荷重2 t の電動チェーンブロック2台とワイヤロープを使用して搬器をつり上げ、エレベーターの主索を切断し、搬器を下降させようとしたところ、搬器が動かなかったため、確認していたところ、ワイヤロープが破断し、搬器とともに18m下のピットに墜落した。	170209	1～ 9
2004	8	11 ～ 12	残土置き場に仮置きしていたダンプカー（部品取用の不働車）を別の残土置き場に移動させるため、ブル・ドーザーで牽引中、牽引に使用していたワイヤロープ（直径18mm、全長4.5m）が切断し、ダンプカーが坂道を下り、約50m下がったカーブに差し掛かったところで路肩に乗り上げ、その反動で横転し、運転手がダンプカーに挟まれた。	20201	10 ～ 29
2004	7	15 ～ 16	倉庫内に積まれた、ラック（自転車をのせるもの）の山を上る最中に墜落した。	40301	30 ～ 49
		13	台風の強風で傾斜した木を引き起こすため、8.6m離れた柿の木（胸高直径		

2004	12	～ 14	30cm) とナイロンロープ (12mm径) で張力を掛けて結んだ。そのロープの中間部付近を、高さ1.6mの法面 (のりめん) へ身体を乗り出すようにして引っ張ったところ、結び目が解け、仰向けに墜落した。	60201	1～ 9
2005	9	～ 15	ベンチで破碎後の切羽に残った岩を落とす作業を行っていたところ、安全帯を使用していた親綱が切断し、被災者が80m滑落した。	30108	30 ～ 49
2005	9	～ 15	窓清掃作業をキャットウォーク上から行っていたが、手の届かない部分の清掃作業を行うため、屋上からつり下げていたロープにブランコをつなぎ、そこを足がかりにして作業しようとしたところ、ロープが緩んだことからバランスを崩して1.4m下のキャットウォーク上に墜落し、さらに3.6下の床上に墜落した。	150101	30 ～ 49
2005	11	～ 1	農道改良工事の法面への客土吹付作業において、法面に垂らした親綱にグリップで安全帯を取り付けて作業していた被災者が5m下の農道コンクリート面に墜落した。	30107	10 ～ 29
2005	5	～ 10	国道沿いの吹付法枠の補修工事において、上方から順次モルタルの粉落し作業を行っていたところ、親綱が切れ、4m転落した。	30199	30 ～ 49
2005	1	～ 15	法面改良工事のために、法面に親綱を張り安全帯のフックをかけて、法面上で型枠の下地となるラス金網を敷く作業をしていたところ、親綱を固定していたピンが折れて、被災者が法面を転落した。	30199	10 ～ 29
2005	5	～ 22	空中ブランコショーにおいて、4mの高さでブランコを両手で持ち、蹴上がりしようとした後に後ろに反動をつけて前方に足を振り上げたところ、手がすべり墜落した。	140101	100 ～ 299
2006	6	～ 11	作業員4名で5階建てビルの外面ガラスの清掃作業を清掃用ブランコを使用して作業を行っていたが、被災者の姿が見えないことに気づいた同僚が屋上から地上を見下ろしたところ、ビル北側の地上植え込みに被災者が倒れているのを発見した。	150101	10 ～ 29

2006	6	16 ～ 17	防波堤・護岸設置他工事におけるケーソン進水作業に際し、ケーソンをつり上げるための吊枠上でワイヤロープを差し替え中に、ワイヤロープを誘導するための介錯ロープを移動させていた被災者に、移動式クレーンでつり上げ移動させていたワイヤロープが後方から激突し、そのままバランスを崩して吊枠の開口部から墜落した。	30111	50 ～ 99
2006	8	13 ～ 14	県道法面の落石防止工事において、モルタル吹付け作業の準備として、吹付け箇所除草作業を行っていた。法面角度はほぼ垂直。被災者は法面上部から垂らされた親綱にロリップ・安全帯をつなぎ、宙吊りの状態で除草作業を行っていた。作業場所を移動する為、地上から14.6mの高さの箇所で、足が置ける程度の平坦地にて、隣の親綱にロリップをつなぎかえた直後、7.6メートル下の岩場に墜落した。	30108	1～ 9
2006	9	9 ～ 10	分譲マンション管理人が、鍵を持たずに外出して部屋に入れなくなった二階住民に鍵を開けるよう依頼され、許可を得て同室真上の三階ベランダに立ち入り、手すりにロープを掛け、ロープを伝って二階ベランダへ降りようとして墜落した。	170209	100 ～ 299
2006	10	13 ～ 14	5階建築物外部の窓ガラスをブランコを使用して清掃中、建物の屋上に設けられている丸環からブランコを吊っていたロープが外れ墜落した。	150101	10 ～ 29
2007	10	9 ～ 10	8階建てビルディングにおいて、被災者は屋上からロープを垂らしてブランコに乗り、外部窓ガラスの清掃作業を行った。8階窓ガラスの清掃を行い、引き続き7階窓ガラスの清掃を行うため、ブランコを下に移動した際に、屋上の既設丸カンに固定されていた本ロープがはずれ、ブランコごと墜落した。	150101	10 ～ 29
2007	3	14 ～ 15	配送先事業場の路上にトラックを停車し、フォークリフトを使用して荷卸しするため、トラックの荷台からパレット（フォークリフトにより高さ95cmの高さに設置）に荷を移動していたところ、路上に転落し、道路を走行中のトラックにはねられた。	40301	10 ～ 29
		8			10

2008	11	～ 9	ブランコでの窓拭き作業中に使用していたメインロープが切れて4階付近から路上に墜落した。	150101	～ 29
2008	3	9 ～ 10	8階建てビルの外部の窓ガラス清掃中、5階の窓ガラス部分のブランコから約9m下の3階ベランダへ墜落して死亡した。	150101	10 ～ 29
2008	11	～ 14	フルハーネスタイプの懸垂降下用具を使用して6階建てビル外壁の塗装作業中、屋上の塔屋鉄骨階段に取り付けていた用具のつり元が外れて当該ビルの5階部分より墜落した。	30209	1～ 9
2009	10	～ 15	集水井掘削作業において、補強材のH鋼を取り付けるために、被災者が親綱、ロリップを使用して集水井内に侵入したところ、井戸頂部から2m付近で、ロリップとともに親綱が切断し、33m下の井戸底に墜落した。	30199	10 ～ 29
2009	6	10 ～ 11	13階建てマンションの清掃作業を行っていた被災者が、外部昇降階段の11階と12階の間踊り場で、天井や電灯の掃除の作業を行うため、パイプ椅子の上に乗って作業を行っていた際に、誤って高さ1.14mの側壁を越え、地面へ墜落した。	150101	100 ～ 299
2010	1	9 ～ 10	ホテル屋上からロープを垂らし下降しながら窓清掃を行う作業を行っていた被災者が、当日2カ所目の作業のためロープを緊結し、屋上のパラペットからロープを伝って下降しようとしたところ、ロープの緊結がほどけて高さ約4.5m下の地面に墜落した。	150101	1～ 9
2010	6	8 ～ 9	8階建てビルの外面窓清掃作業のため、被災者は屋上にブランコをセットした後、6階の窓ガラスを清掃している時、建物の角にステンレス製の雨どいがあり、この雨どいへの巻き養生を付け忘れたことによってブランコのロープ2本が切断し、地上へ墜落して死亡したもの。	150101	1～ 9
2010	6	7 ～ 8	病院内の物療室（電気治療などの物理療法を行う部屋）において、高さ205cmの戸棚内にあるガーゼの入った段ボール箱を取るために高さ80cm、奥行40cmの棚の上に乗っていた被災者が付近で清掃作業を行っていた作業員に当該段ボール箱を渡そうとしたところ、転落したもの。	150109	10 ～ 29

2010	12	13 ～ 14	7階建てのビルにおいて、被災者がブランコを使用して外壁・窓清掃作業を行っていたところ、ブランコを支えていたメインロープの屋上部分の結び目が被災者の体重等に耐えられる結び方でなかったため外れ、被災者は7階壁面位置からメインロープ・ブランコごと地上に墜落し、被災した。なお、垂直親綱（ライフライン）は外れておらず、また、被災者の腰ベルトにはロリップがついていた。	150101	～ 99
2011	8	8 ～ 9	契約しているビルの窓ガラス清掃をメインロープとライフラインを通したハーネスを装着し、屋上部から順次作業を開始した。8階部の清掃作業を終え、7階部に下降したところ、メインロープとライフラインと共に、約30メートル下の地面に墜落した。	150101	～ 99
2011	7	10 ～ 11	瓦置き場において、2段ある金属製パレットの奥に貯蔵している瓦を取り出すため、被災者はパレットの2段目に昇り（高さ1.17m）、瓦を取り出し、パレットを降りようとした。その際、あやまって墜落し、パレットに前頭部を打ちつけ、地面に仰向けに落ちた。病院へ搬送され処置されていたが、9月4日に死亡した。	10905	～ 29
2011	1	9 ～ 10	親綱にロリップを固定し、地面から高さ4.88メートル付近の位置で、ドリルで地山に坑を開ける作業をしていたところ、ドリルが故障、故障したドリルを被災者が降ろしている最中に墜落し、コンクリート擁壁に頭部をぶつけ、死亡した。	30108	1～ 9
2011	11	16 ～ 17	工場内のサイロ・鉄骨・作業床等の解体工事のため、被災者が搭乗した搭乗設備（重量約100kg）を工場内の天井クレーン（定格荷重2.8t）で吊って溶断作業を行っていた。被災者は、当日の溶断作業が終了したので、一部作業床（約幅140cm、長さ400cm）が残っている箇所へ搭乗設備を降ろして、搭乗設備からフックを外して、搭乗設備から当作業床に移ろうとした時、搭乗設備と一緒に約8m下の2階床に墜落し死亡。	30201	1～ 9
2013	8	9 ～ 10	鉄筋5階建て雑居ビルの外窓清掃のため、屋上に作業用ロープと命綱を取り付けた後、屋上のパラペットから人力のブランコ台をビルの外側に下ろす際に、ブランコ台と共に約20メートル下の地上に墜落した。	150101	1～ 9

2013	5	13 ～ 14	法面上において親綱を張り、ロリップ式安全帯を使用して浸食防止マット貼り作業を行っていたところ、親綱からロリップが外れ、約30メートル下に転落した。	30199	1～ 9
2014	6	10 ～ 11	窓清掃作業中、ブランコ作業を行っていた被災者が、墜落し、下方にいた同僚に激突。墜落した被災者と、激突された被災者は共に死亡した。	150101	1～ 9
2014	6	10 ～ 11	窓清掃作業中、ブランコ作業を行っていた被災者が、墜落し、下方にいた同僚に激突。墜落した被災者と、激突された被災者は共に死亡した。	150101	1～ 9
2014	5	22 ～ 23	ビルの外壁に設置されている照明設備の電球交換を行うため、安全帯取付用親綱が設置されていない状態で、高所作業用ブランコに乗り、ビル屋上から照明設備の位置まで降りようとした際、ブランコを保持していたロープが切れ、ブランコもろとも地上へ墜落し、死亡した。	30309	1～ 9
2014	5	11 ～ 12	ブランコ板にて外面窓ガラス清掃作業中、被災者がブランコ板から墜落した。	150101	50 ～ 99
2015	7	9 ～ 10	被災者は治山工事での伐木作業で、法肩のケヤキ（高さ9m、胸高直径35cm）を伐倒し玉切りしていたが、伐木が谷側に滑落しそうになったことから、1本のロープの端を伐木の先端と末端にそれぞれ結び、同僚と二人で引き上げようとしたが動かなかった。そこで被災者はロープの内側に入り込み、引き続き玉切りを続けたところ、伐木が路肩から滑落し、当該ロープに被災者の足が引っ張られる形となり、急斜面を約25m滑落したものの。	30199	1～ 9
2015	5	9 ～ 10	建物（7階建て）外面の窓ガラス清掃をブランコを使用して行っていたところ、7階清掃中において屋上から吊り下げていたメインロープが切れて約20メートル下のアスファルト舗装歩道上に墜落したものの。なお、墜落防止用のロリップが設置されていたが、被災者はこれを使用していなかったもの。	150101	50 ～ 99
		14	作業箇所の上部からロープを吊るしそのロープにより身体を保持しながら作業を行ういわゆる「ブランコ作業」にて建物の外窓清掃作業を行っていた被		1～

2015	5	～ 15	災者が、そのロープと共に屋上付近（高さ約19メートル）から地上に墜落し、死亡したものの。	150101	9
2016	10	～ 16	ロープとブランコを用いて5階建て（高さ20m）のオフィスビルの窓の清掃を行っていたところ、メインロープを緊結した構造物（配管ラック）が滑動してメインロープが外れ墜落し死亡した。	150101	1～ 9
2016	4	～ 18	被災者がラベルプリンターを物品棚に戻す際、踏み台代わりにキャスター付のイスを使用したところ、イスが動いたため、バランスを崩し、40cm下の床に墜落し、後頭部を強打し、意識を失った。一度は意識を取り戻したが、病院へ搬送されている途中で再び意識を失い、容態が回復しないまま、死亡した。	120109	50 ～ 99
2017	1	14 ～ 15	9階建てのオフィスにおいて、屋上からロープを垂らし、所謂ブランコ作業で各階のベランダに乗り移ったうえ、窓の清掃作業を行うにあたり、高さ22.70メートルの建物8階ベランダ付近で作業中、誤って墜落し、玉砂利と庭石のある中庭に落下した。	150101	10 ～ 29
2018	3	～ 15	高さ12mのコンクリート柱へアンテナ取付工事中、安全帯のフックを本来胴綱のD環に付けるが、工具サックの落下防止紐取付部に掛け間違えたため、体重をかけた際に工具サックが壊れ、地上に墜落した。	30301	1～ 9
2019	11	～ 10	ビル北側外壁8階部分の亀裂調査のため、被災者は、ロープ及びハーネスを用いて屋上（10階）から外壁面に沿って下降しようとしたところ、1階まで墜落したものの。	30201	1～ 9
2019	2	14 ～ 16	9階建てビルの窓ガラス清掃作業を行うため、屋上室外機周辺の鉄架台を吊元としてブランコを設置し作業を行う際、吊元強度不足のため、ブランコとともに地上に墜落したものの。（墜落高さは不明確であるが、作業面の建物高さは28.815m）	150101	1～ 9
2019	1	～ 12	被災者はブランコ作業にて5階建てビルのガラス清掃を行っていたところ、メインロープが支持物から外れ、ライフラインを設けていなかったためビル5階部分より墜落し、搬送先の病院で死亡が確認されたものの。	150101	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207_01.html